

2025年4月27日

オンライントーク：柏崎刈羽原発 県民投票求める民意の行方

柏崎刈羽原発の論点

どんな原発？

- 新潟県柏崎市、刈羽村にまたがる東京電力の発電所。合計出力は821万2,000kW
- 電気は首都圏へ
- 2007年、新潟県中越沖地震によりすべての原子炉が停止
- 2011年、福島第一原発事故ですべての原子炉が停止
- 2017年、6、7号機が再稼働のための原子力規制委員会の審査に合格
- 東電社員のIDカード不正使用など、核セキュリティ上の杜撰な管理実態や不祥事が相次いで発覚⇒運転禁止命令⇒2023年12月、解除



「地元同意」とは

- 原発を再稼働する際に、原発が立地する市町村および道府県の同意が求められている
- 法律に明確に位置付けられているわけではない
- 近隣の自治体は、避難計画の策定が必要になるのにもかかわらず同意が求められているわけではない
- 立地においても、首長や議会の形式的な同意で「地元同意」とみなされてしまう
- 柏崎刈羽原発の場合、すでに柏崎市と刈羽村の「同意」はとれているため、現在、新潟県の「同意」が焦点となっている。

新潟県の「3つの検証」とは

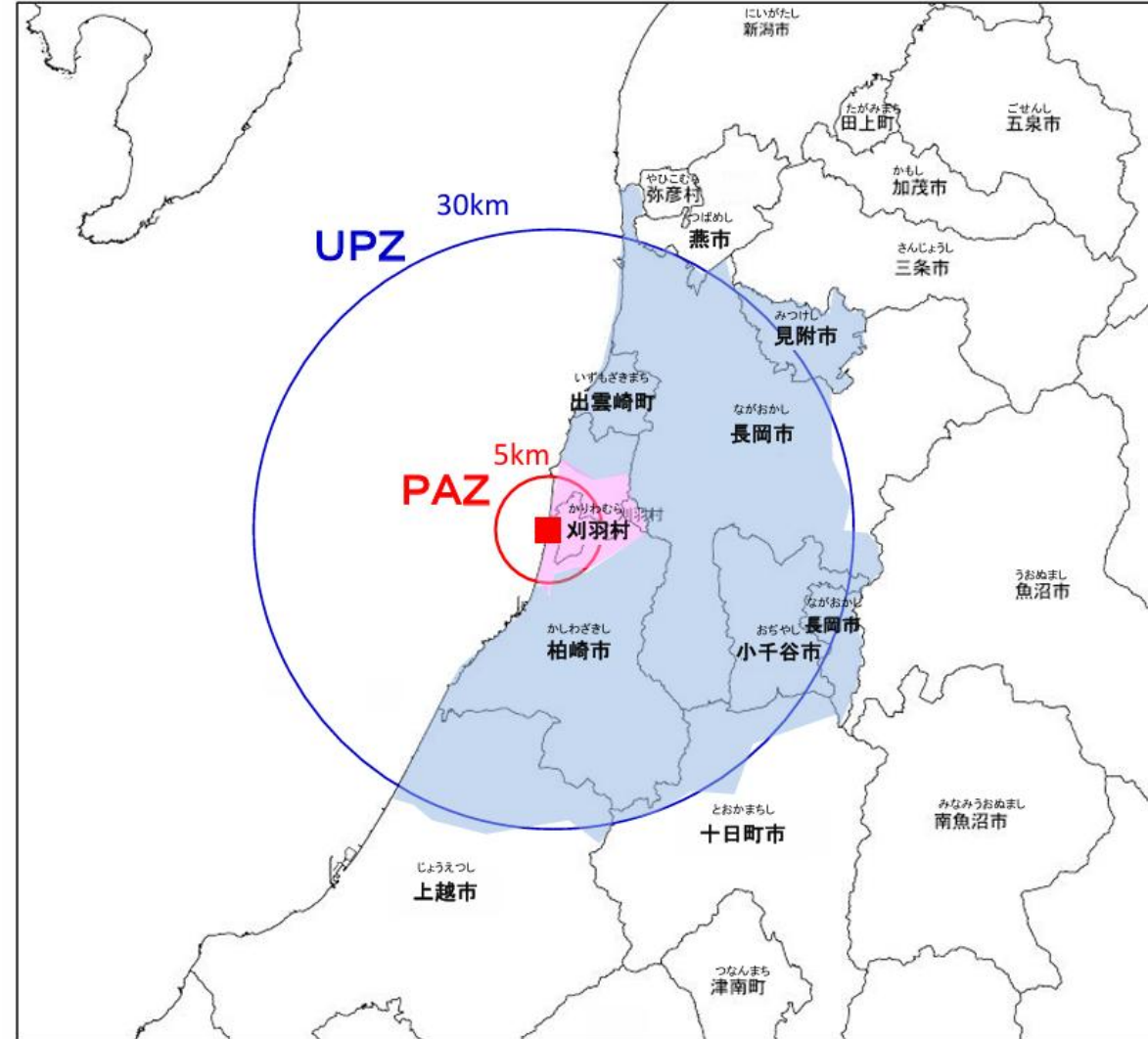
- 2017年、再稼働の議論の前に福島第一原発事故の検証が必要として、以下の3つの検証委員会を設置
 - 福島第一原発事故原因の検証
 - 福島第一原発事故による健康と生活への影響の検証
 - 福島第一原発事故を踏まえた原子力災害時の安全な避難方法の検証
- 検証総括委員会も設置されたが、総括の方向性をめぐり池内了委員長と新潟県の意向に隔たりが生じ、空中分解に
- 総括は新潟県主導で実施された
- 「市民の力で包括的な検証を行うべき」とする池内了氏など有志により「市民検証委員会」が設立⇒新潟県各地で意見交換会を実施

東電は信頼できる？

2002年	柏崎刈羽原発、福島第一・第二など計13基の原発で、 ひび割れや故障を長年にわたり意図的に隠ぺいし、記録を改ざん していたことが内部告発をきっかけに明らかになった。いわゆる「 東電トラブル隠し事件 」
2007年	中越沖地震では、柏崎刈羽原発の配管破損や変圧器火災、放射性物質の漏洩が発生。 想定を超える揺れにより、地震評価や耐震設計の甘さが露呈 した。海底断層の一つのF-B断層について東電は当初は活断層とは評価していなかった。2003年、原子力安全保安院の指示により 長さ約20kmの活断層と再評価していたが、このことを公表しなかった 。中越沖地震後、東電はF-B断層を長さ34kmの活断層と再評価した。
2011年	福島第一原発事故では、 早い段階で炉心溶融（メルトダウン）を認識しながらそれを公表せず 、「炉心損傷」としていた。その後も東電は「炉心溶融の判断基準はない」としていたが、2016年になってから東電は「炉心溶融の判定マニュアル」を有していたこと、それに従えば、事故直後から炉心溶融の状況であったことが明らかになった。
2020年	柏崎刈羽原発において、中央制御室において、東電社員が 他人のIDカードを使って入室していた ことが明らかになった。その後の調査で複数人による不正使用が発覚
2021年	柏崎刈羽原発で、侵入者を検知する 複数のテロ対策設備が機能しておらず、それが放置 されていたことが明らかに
2023年	柏崎刈羽原発において、 東電社員が6号機原子炉建屋の図面を無断で持ち出し、紛失 した。その後、他の社員による書類持ち出しも明らかに

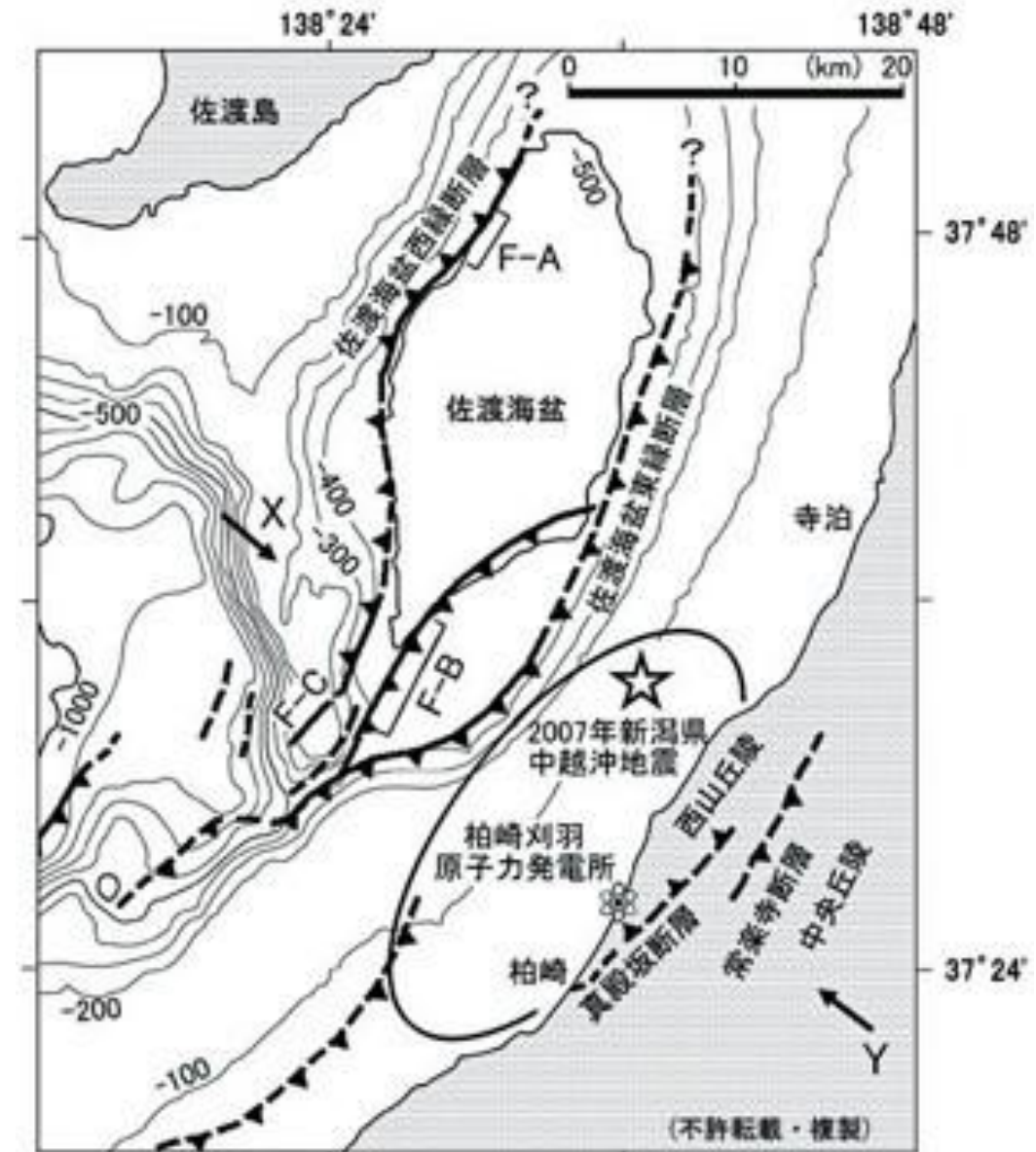
万が一の事故の時、避難は可能？

- 原子力災害対策指針は、原発で全面緊急事態（冷却機能喪失など）が発生した場合、PAZ（原発から半径5km圏内）の住民が避難、UPZ（半径5-30km圏内）の住民は屋内退避となっている
- 複合災害では、**避難も屋内退避もできない**状況に
- 豪雪時**に避難はできるのか？
⇒政府の対応案：
PAZでも**避難ではなく屋内退避に**。
雪下ろしもしてください
PAZ: 18,635人 UPZ: 403,265人



地震は大丈夫？

- 地震帯の真っ只中に立地
- 2007年の中越沖地震（M6.8）では、**設計上の想定を超える揺れ**に
- 6, 7号機の基準地震動は、海底活断層（F-B断層）による地震を想定。東電は当初はこれを活断層とは評価せず。2003年、原子力安全保安院の指示により長さ約20kmの活断層と評価しなおしたが、公表しなかった。
- 中越沖地震後、F-B断層を長さ34kmの活断層と再評価
- 専門家は、F-B断層は**50-60kmにおよぶ長大な活断層**（佐渡海盆東縁断層）から枝分かれしたものにすぎず、活断層全体が動いた場合を想定し、少なくともM7.5程度の地震を想定すべきとしている



出典：「柏崎刈羽・科学者の会」リーフレットNo.1 2008年2月24日

そのほかにも…

- 「テロ対策施設」はどうなっている？
- 再稼働のためのコストは？
- 再稼働したら電気代は下がる？
- 核のごみはどうなる？
- 再稼働しなかったら電気は足りなくなる？

詳しくはこちらから

 <https://foejapan.org/issue/20250415/23654/>



東電柏崎刈羽原発

知っておきたい14のポイント



FoE
Japan